

「教育用画像素材集」活用事例

- 教育用画像素材活用のための調査及び開発作業 -

【概要】

「教育用画像素材集」はミレニアムプロジェクト『教育の情報化』政策の一環として情報処理振興事業協会（以下 IPA）より CEO が委託を受けて、平成 12 年度・13 年度に開発された「教育用画像素材」約 17,000 点を公開しているが、教育現場での一層の普及を目的として、活用のための調査を行なうとともに、画像活用マップ及び授業活用事例の開発作業を実施した。

【内容】

「教育用画像素材」約 17,000 点を対象とした調査及び開発作業

- (1) 教科・単元から見た活用度の調査から分類を行なった。
学習指導要領や教科書の単元構成に従い、学校種、学年、教科、各単元のねらい・学習活動・効果等の観点からコンテンツ毎に現場での活用場面をベースとして分類を実施した。
- (2) 「教育用画像素材」の整理
(1) の作業の段階で想定される利用場面等のコメントを付与し整理した。
- (3) 「教育用画像素材活用マップ」の作成および「授業活用事例」の収集
(1) の活用度調査にもとづき、教育現場での活用をしやすくするため学年・教科・単元等をキーとして整理し、活用マップを作成した。
また、画像素材コンテンツ活用の事例(レシピ)を収集し、活用マップとの関連活用ができるよう整理を行なった。

【実施体制】

1. 研究開発グループ

主 査 永野和男（聖心女子大学）

メンバー 原 克彦（園田学園女子大学）・小田和美（東京女子体育大学）・野中陽一（和歌山大学）・井上久祥（上越教育大学）・小川 亮（富山大学）・近藤 勲（岡山大学）・林 徳治（山口大学）・宮田 仁（滋賀大学）・松下文夫（香川大学）

2. 協力者グループ

全国の現場教員による協力者グループを 8 班編成した。

東北班、上越班、富山班、山口・滋賀班、和歌山班、尼崎班、岡山班、香川班

【成果】

「教育用画像素材」の分類整理

54 カテゴリに分類された約 17,000 コンテンツは、教育現場の視点により 10 カテゴリに再編成されたのち、授業実践の観点にて全ての素材の整理を実施した。この作業には、小学校・中学校の現場教員約 100 名の協力者が実施した。これらの作業は制作者の想定をはるかに超える利用場面に教育素材が利用可能なことが指摘された。

当作業にて集積された、各素材の利用学年・教科をキーとして再生成し、活用事例実践案を作成した。

「教育用画像素材活用マップ」

画像素材活用マップは、学年・教科別かつ活用事例から、素材が簡易授業案を通じて活用される場面をイメージできる形で作成した。



「授業活用事例（レシピ）」

《小学校》 国語 30事例 社会 36事例 理科 22事例
 生活 6事例 音楽 8事例
 図画工作 4事例 家庭 5事例
 体育 18事例 道徳 4事例
 《中学校》 国語 11事例
 社会 5事例 数学 9事例
 理科 13事例 音楽 2事例
 美術 1事例 保健体育 6事例
 技術・家庭 4事例
 英語 3事例 自立活動 1事例
 《キー・センテンスによる事例》 90事例



学年をキーとした一覧



画像素材活用事例（レシピ）